

# 会 議 録

会 議 名	令和5年度第4回丸亀市社会教育委員の会
開 催 日 時	令和6年3月18日（月）10時00分～12時00分
開 催 場 所	市役所3階 303会議室
出 席 者	出席委員 久米井 直人・倉田 眉貴子・高橋 勝子・藤田 裕子・ 大村 隆史・塩田 康廣・中俣 保志 欠席委員 金澤 泰宏、宮武 恵美子、西川 昌弘 傍聴人 なし 事務局 谷本課長・田村主任
協 議 案 件	議 事 （1）協議テーマ「学習成果を社会で活用することを見据えた学びのあり方」について 報 告 （1）令和6年丸亀市二十歳の成人式について （2）その他
配 布 資 料	事前配付資料 【資料1】コミュニティを構成する人・団体のイメージ図 【資料2】コミュニティなどの地域づくりの現状と課題 【資料3】コミュニティなどの地域づくりの現状と課題に対する学びのあり方 【資料4】丸亀市生涯学習推進計画に関する市民アンケート調査結果 【資料5】令和6年丸亀市二十歳の成人式開催報告
事務局	定刻がまいりましたので、ただいまから令和5年度第4回丸亀市社会教育委員の会を開会します。 最初に会長からごあいさつをお願いします。
会長	おはようございます。 私の団体で子育て情報マップを作り始めて10年以上が経ちますが、最初は丸亀市の中で子育てをしているお母さんたちと、「いろいろな情報が見えないよね。どこにあるのだろうか」というところから始まりました。他市で作られている情報マップがあったので、丸亀でも作ることを投げかけてみると、「やってみたい」「このようなのをぜひ作りたい」という声があり、NPO法人と子育て中のお母さんが一緒に作っています。毎年、情報が

	<p>変わってくるので、毎年更新をしています。この情報を集めたり、編集したりするのを、団体だけでやるっていうより、そのお母さん方が一緒にやる、自分たちのものになるものを自分たちの目線で作るというような形で、年々関わってくださる方が変わっていつていますが、最初に一緒に作った親たちが、今はさぬキッズのメンバーになって一緒に働いてくれているという状況があります。考えたら、本当に人が循環していく支援のあり方っていうのができているのではないかなと最近つくづく思います。</p> <p>そういったうちの活動を、国立教育政策研究所保健教育実践研究センターという国のところで、今年度 2 月にうちの実践事例っていうことをして欲しいと申し出があって、発表させていただいた。</p> <p>学びって、講座のように話を聞くということだけに目がいってしまいがちだけど、何か一緒に作り上げていくとか、実践的なことから生まれてくる力というのもすごく素敵なことではないかなと日々思っているところで今日は紹介させていただきました。</p> <p>では今日はいろいろみなさんのご意見をお聞きしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議の出席者は、委員総数 10 名のうち 7 名ですので、本会議が有効に成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、ただいまから議事に入ります。</p> <p>丸亀市社会教育委員の会に関する規則第 4 条に、会長は会議を招集し、これを主宰するとありますので、高橋会長に議長をお願いします。</p> <p>これからの議事進行をよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>はい。早速議題に入らせていただきます。本日の議題は 1 件です。「コミュニティなどの地域づくりの現状と課題に対する学びのあり方について」です。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《資料 1～4 に基づき説明》</p>
会長	<p>事前に資料が送られてきた際に、「本日の会議では、資料 3 において整理した意見に対するご意見や論点にそった新たなご意見をいただきたい」という記述があったかと思えます。事務局からの詳しい説明をお聞きになったうえで、その観点からのご意見をいただきたいなと思っております。課題とそれに対する対策っていう点でも、事務局からの意見としてこちらに書</p>

<p>委員</p>	<p>かれていますけれども、皆さんからも、課題は本当にいろいろ抽出されてきていると思うので、その中で、具体的な対策とか提案のご意見をいただけたらと思います。お一人ずつ考えてきた案をお聞かせいただければと思います。</p> <p>ちよっとこの流れからずれるかもしれませんが、コミュニティのことを知ってもらうためでもありましたけど、コミュニティ側にも、一応悩みがあります。</p> <p>例えば私の城坤地区では、人口が大体 14,000 人いますので、その人たちに何かを知らせるという方法が自治会以外はないです。だから自治会で今世帯数が約 2,600 世帯ですが、それ以外のところに情報を知らせる手段がないです、コミュニティで。そこをどうするかということが課題になっています。</p> <p>ある自治会では、自治会以外のところでも情報を配るための、コミュニティが発行しているような、広報誌の要文を渡して配ってもらうとかいうことをやる程度です。</p> <p>だからそれ以外の大体、人口で言って半分。自治会に入っている率が今 40%切っている。ですからほかの 60%の人にどうやって知らせるかということも大きな問題で、1つはイベントの祭りとか秋祭りとかで、広く来てもらうということをやっていますが、コミュニティが今からどういうことをやろうとしているのかという細かいことはなかなか、そういうコミュニティの遊びの場だけでは伝わらない。</p> <p>だから結局組織していくか、情報の提供を頻繁にやるかということを通じてでないとなかなかコミュニティがやろうとしていることがわからない。</p> <p>コミュニティでやろうとしていることは、いろいろ課題はありますが、結局は自治会がやろうとしていることとよく似ているのかなと。</p> <p>というのは、自治会は何でも屋です。下水道のことからカーブミラーのことから、全部やらないといけない。</p> <p>コミュニティもそれによく似た感じがあるので、やっぱり自治会をしつかりさせないと。させないとというと、ちよっと上から目線ですが。</p> <p>そうではなくてやっぱり自治会で周りの住民のために何をするかということを、自覚している人を増やさないといけないというのはわかっていますが、それがなかなかできない。</p> <p>というのは自治会の自治会長は大体半分ぐらいが、1年ごとに交代します。要するに当番に当たったから、しょうがないから会に出ようかという程</p>
-----------	---

度の意識でくる。もう会議に来るのもやっという感じです。

だからそういう中でなかなか、絵にかいたように継続した活動ができない。毎年毎年新しい人に説明をしていくところから始めないといけない。現状の形でいくと、それが大きな課題かなと。

今ちょっと話が進みかけているのは、1つは自治会を増やさないとけないが、自治会を強調するのではなく、こちらから何か連絡を取ろうと思えば取れるという人をできるだけ多く作らないといけないということで、もう自治会組織とするとなかなか難しい。

例えば新しい家が10軒ほどでき、そこで自治会作りましょうと言っても、そこへ来た人はみんなあちこちから来ているので、もともと連携はないですよ。

ただそこで自治会を作らないといけないが、横の人が誰かわからない状態で、なかなか自治会を作ろうかという機運にならない。

だから、そういうところではまだちょっと具体性はないですが、川西コミュニティがやっているコミュニティ自治会というものがありますが、それは情報提供だけで役員にならなくていいもので、もちろんなりたい人はなくてもいいですよということで、情報提供をメインにやっている。

それと例えばクーポンを近くのスーパーからいただいて、コミュニティ自治会に入ればクーポンがもらえるよということで、メリットのこともちょっと考えた上で、情報を提供するゆるい組織ということで、コミュニティ自治会ということをやらないといけないなど。これもすでに川西コミュニティでやっていますから。

そこら辺から、住民全体に対するコミュニティのやろうとしていることとか、生涯学習につながるいろんな内容を伝達していく、そういうシステムを作らないことにはなかなか、我々世話している者からするとストレスがどんどんたまって、全然伝わらない。

そういうことで今一番の私の課題は、自治会に結集してない人、60%ぐらいの人に、どういう繋がりを持つべきかというところが一番大きな課題です。

それともう1つはそういうことを世話する役員さんをどうやって作るかということで、私も2年ぐらいやって、いろいろ話をしていますが、やっぱり他の自治会長さんに聞いても、若い人がいない、動いてくれる人がいない、そういう答えしか返ってこないです。1年ちょっと待ってみました、自治会長からは動ける人がいないという話しか出ないです。

それで、私が個人的に、いろんな機会を通じて、若い人、若いというのは40代から65歳ぐらいまでの人を、ちょっと注意して見ていって、その人

	<p>に個別に当たっていく。それで、話をしたら大体わかります。皆さん仕事している人ばかりですから。</p> <p>仕事に行きながらも、やれる範囲のことでやりませんかということテーマに話をして、日々増えかけて、今度 5 月の総会のときに役員改選がありますが、相当若手が入ってくれそうな雰囲気喜んでる。今のところ、11 人ぐらいの人が反応示してくれて、やろうかというところまでいっている。</p> <p>だからその辺を基礎にして、新しいやり方というか、若い人の感覚で新しいやり方を模索しながら、かと言ってお年寄りをほったらかすわけじゃないのでお年寄りはお年寄りで、従来のやり方も継続していきながら、若い人がやれるやり方。そういう仕事をしながらでも活動に参加できるというシステムを作っていかなければと思っている。ここに書いてあるアンケート、なるほどというのもあります。実際コミュニティで世話している側から言うと、もうちょっと具体的にやらないとなかなかね。こうやればいいという理屈はわかる。</p> <p>そうなるためにはどうするかっていうところまで掘り下げて考えないと、なかなか人が動かないし人は見つからないし、ということ。</p> <p>だから総会前、特に人のことに対して今一番関心が高まっている時で。個人的にはちょっと先が見えてきたかなという感じはして、今まででしたらもう、役員の担い手がいないという話だったのが、個別にピックアップしていったね。</p> <p>いろんな防災関係で関心のある人とか、関心の度合いによってその組織、自主防災とかありますからね。そこでの動きを見ながら、ちょっと声かけたら割と思った以上に反応がよかったので、そういうことをやっぱり地道にやっていかないとなかなか、さっきのピラミッドのトップの方の、会長とか部長とかいうのは見つからないなというのが実感です。</p> <p>ちょっと長くなりましたけど、ちょうど今、タイミング的には話題だったので、いろいろ考えてこれを読んでみましたが、いいなと思いつつ、これはできないかなというのもいくつかありました。以上です。</p>
委員	<p>若い人が仕事をしながら参加できるのは、夜とかそういうところで会をするということですか？</p>
委員	<p>結局みんな何が気にかかっているかということ、会議が多い。昼間の会議が多いです。うちの場合はなぜか昔から、日曜日が休みになっている。コミュニティですが。ちょっと変えないといけないと思いますが。</p>

<p>会長</p>	<p>だから結局働いている人は参加できないような体制です。役員会が昼間、9時10時からでは働いている人は絶対来ることができません。</p> <p>それで去年からは土曜日にやりましょうということで、土曜日休みの人が来れるようにしたら、PTAの人とか来始めた。</p> <p>それを徹底して、例えば土曜日か日曜日ということで休みであっても、私が鍵を持っているので開けますよと、日曜日も会議を始めた。すると結構若い人来ますからね。</p> <p>そういう中でいろいろ話をしていく機会と時間が多くなってくると、その人がどういうことで困って、やりたいけどできないかっていうのが分かってき始めて、だからネット環境を十分使っていないと。家にも会議しましょうということで今提案している。会議も、リモートでやろうかなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>何か先が見えてきたかなという感じがしています。</p>
<p>委員</p>	<p>個人的にはトントンといけるかなというところがありますが。</p> <p>去年まではやる人でも、もうすまんけど半年でいいからやってくれないかということで頼んでも、結局やって半年でやめました。もう責任果たしたよってスッとやめていく。そういうすすめ方ではダメだと思う。</p> <p>やっぱりやりたい気持ちがあるうちはいつまでもできるよという体制を作っていくのと、もう1つ言えば、委員になってくれと言ったらしぶるが委員じゃないもっとゆるいところで、例えば運営委員会とかスタッフとか、そういう形で関わりを持つようにして、会話とか行事に参加してもらいながら、働く人たちがどういう風にしたら参加できるかなというところも、若い人たちの中で話をしないと。年寄り同士で話したらやっぱり昼間のことが中心になる。そういう人を無視はしないけど、やっぱり今から発展させようと思ったら若い人がやれるような体制と、そういうシステムを作っていかなければいけないかなという感じですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のお話を聞いていて、学びが会長が最初言われた講座みたいな感じがすごく、第1印象であります。そこでA委員がお話されたみたいに、例えば若い人が仮に11人集まってくれたらそこからさらにどう広げていくかってことをみんなと話を、そういったところも本当に学びになるのかなとは思っています。</p>

委員	<p>今からのことですが、早速今日帰ってやることですが、そのやろうかという人、今 11 人いる人を、その人たちだけで一度集まってもらい、フリーに今までのしがらみなしで、自分たちの町をどうするか、どういう風にしたいかということ率直に話す機会を作ろうと思う。</p> <p>それで、いろんな意見が出てきたらその人がどういうことに関心があるかわかってくるので、それに対応するような役を、今なければ作ってほしい。</p>
事務局	<p>本当にこのピラミッドで言うと 1 と 2 の間の、1 ほどどっぷり浸かるわけではないけれども、スタッフとして来るだけではなくて、関われる範囲で運営にも関わってもらえるような、そういった人たちも増やしていこうという感じでしょうか。</p>
委員	<p>下の方のその他というのがありますが、私はその他の人というのに目をつけています。団体の人は、その団体の目的があるからそっちが忙しいと言われれば、次言いようがない。私が注目しているのはその他の人です。</p>
事務局	<p>団体に入っている方たちはこの 1・2 に関わっているけど全くフリーで関わる人ってなかなかいないですか？</p> <p>右側の吹き出しの構成団体、このピラミッドのこの図で言うと、いろんな自治会から始まって PTA とかそういう方があって、私はコミュニティ活動に関わりたいて、何の団体にも属していないような方が運営とかに、関わるというのは現実のところなかなか難しいですか？</p>
委員	<p>それはあります。ネックになるのは、つい最近思ったんですけど、ある方が、防災に関心ある女性ですけど、話し掛けて、やりますという返事をもらった後で電話がかかってきて、「私が直接コミュニティと関わりを持ったら、自治会長さんを出し抜いてしているように見られないか」という心配をしている。初めてそういう考え方もあると思って、「自治会長と話しますよ」とは言いましたが。</p>
会長	<p>その方は自治会には入ってらっしゃる？</p>
委員	<p>入っています。</p>
事務局	<p>本当にこれは何も団体に属していないその他の人って言ったらなかなか。</p>

委員	<p>見つかる機会がないですね。</p>
委員	<p>これは厳しいですよ、だから、とりあえずこの資料 3 のこの書いてくださっているのは、表向きこれでよろしいじゃないかと思います。</p> <p>一方で、課題、今からいうことはちょっとここだけの議論ということになります。もう場としてのコミュニティセンターをどう広めるかという議論と、そこで中心を担う団体組織をどう維持していくかという議論は、切り離さないといけないぐらい、悪化していると思った方がいいかなと思います。</p> <p>A 委員のような奮闘されているところもあるし、実際活動されているのが目に見えるところもあるでしょうが。</p> <p>例えば城北はコミュニティセンターが動いているとこだと思います。動いているけどお話があったように昼間やる、それから地域の方々の文化祭やるけど、ほぼメンバー以外の人が見たことがない。お客さんもやっている人も一緒。つまり花見のカラオケ大会と一緒にです。これは別に悪いことではなくて、利用している人が活用しているけど、逆に言うと他の人がそこで何かやりたいって気持ちにならない。</p> <p>ただ、それを乗り越える工夫をしているコミュニティセンターもあって、例えば磯井さんという私の知り合いの人もちょっと関わった、小さいライブラリーをコミュニティセンターの中で作ろう、それで人の交流が生まれたらいいなみたいなことで取り組んでいるコミュニティセンターも二、三ヶ所ありますよね。</p> <p>そういうことをやれているところもあるけど、だけど城北のような形で動いていても、その自治会なりこの既存組織なり以外の方が気安く来ることができる環境にはなっていないかと思います。</p> <p>そうなったときに、ここに書いてくれている論点は大事だし、これも継続していったらいいけど、最低限、コミュニティセンターに来る人を、ちょっとでも関わりしろを増やすっていう論点があってもいいかなと思います。そのぐらい現状厳しいと思います。</p> <p>もっと言うと、私は消防団入ってない。消防団にも入っていないと、自治会の情報は入ってきません。</p> <p>お金の回収とか、自治会費の回収とかも、全く情報が入ってきません。</p> <p>逆に言うと消防団に入れば、そういう情報が増えて、人づてのチャンネルみたいなのが見えてきますが。</p> <p>その消防団に入るネックがあって、ちょっとハードル高いなっていう人</p>

	<p>は、おそらく自治会にも入ってこないだろうし、もっと言うとPTAも、これもよく言われる議論ですけど、PTA自体もうやめましょうかと、役員会議を。ただ中心になって担っている人が、LINE という連絡手段を使って、他の人に文句がないか諮ってそれで進めるような形にしたいですねと言う人達もいるぐらいの状況だから、そうなったときには目に見えないけど集まって参加する、関わりしろがあるチャンネルのやり方だと、多分将来性はないかなと思います。</p> <p>絶望的なことばかり言っているようですけど、そのLINE とかでやりとりして決めちゃっている人たちが、ひとまず来ることができるようなところにコミュニティセンターをしておくことが、最終的には他のチャンネルに繋がったりもするかなと思ったからです。だから、組織でどうしようって、講座をどうしようってこれ自体も進めたほうがいいと思います。これをやらなかったらもっともっと灰色になりますから。</p> <p>だからこれはやりつつ、今あるコミュニティセンターの関わりしろをもっと伸ばせないかなという議論もあってもいい。</p>
事務局	<p>学びの観点からそこを広げる何かないですかね。例として街歩きを挙げていますが。</p>
委員	<p>街歩きはね、悪くはないです。ただ私自身も実は2008年から県の街歩きの係をやっています。丸亀もありましたよ。いつの間にかなくなりました。</p> <p>市民部長をされていた方が、熱心に灯笼とか作って、グルグル回っていましたけど。</p>
事務局	<p>竹の灯笼を作ったりありましたね。</p>
委員	<p>要望出せばおそらく協力はしてくれると思いますが。</p> <p>多分、宇多津も立ち消えだし、琴平も消えて、残っているのは多度津だけかな。</p>
事務局	<p>そうですか。</p>
委員	<p>このあたりで残っているのは多度津ぐらいですかね。</p> <p>だからもう10年以上前からあるけれど、それをもう1回逆に今のうちにやった方がいいかもしれないですよ。そういうのを体験した人自体も。</p>

事務局	<p>そうですね。防災の観点からもそういうのも大事とおっしゃっていたので本当その通りだなと思ひまして。</p> <p>車で通ると本当に何にも気づかないけれども、歩けばここが坂になっているとか、あそこのあの建物実はこっちからよく見えるとか、そういうことがすごくリアルにわかるかなと思ひます。</p> <p>だから外から来た転入者なんて全く知らないわけなので、そういった機会に加わってもらえたら、愛着もわくと思ひし、違うんじゃないかなというふうに思ひました。委員が言われたことを、聞いてですね。</p>
委員	<p>だから、スタート地点をコミュニティセンターにして、そこからちょっとまわってきて、最後みんなで共有しますみたいな感じの 3 時間ぐらいのコースをやってみると、どうかなあと思ひます。</p>
事務局	<p>共有する時間も大事かもしれないですね。歩いただけで終わりじゃなくてそのあとちょっとお話しするとか、何か振り返ってみるとか、そういったのも大事なかなという気はしますね。</p>
委員	<p>ただそういう余力ありますか。</p>
事務局	<p>誰が担うかってところで、それこそ生涯学習センターの方でもやってみたらどうかと思ひし、よりリアルなローカルな話ならコミュニティや生涯学習推進員の協力も得なかったらできないかなと思ひます。</p>
委員	<p>コミュニティセンターという場を何か活用するという実験を、ずっとやるわけではなく、それによって新しい人が来るか来ないかを、割り切って企画として何回かやるっていうのはあってもいいかもしれない。</p> <p>それともう 1 個ちょっと気になったのはアンケートで、インターネットが学びの場になっているというアンケート結果がありましたが、それはその通りだと思ひます。ここで大事なのは、その人が自分で知りたい学びたいことをやるのがインターネットなので、ここに来てくださっていうのはまた別の論点になります。</p> <p>例えばつい先日も小豆島のあるトークの企画に行ってきましたが、その人はツイッターを使って情報発信していますけど、フォロワーが 12 万人ぐらいいる。12 万人ぐらいの人が見ているから、3 時間ぐらいしたら予約が 30 人ぐらいすぐうまります。12 万人の中に香川県とか近くに行ける人がいるけど、そうじゃない、そのぐらいの関心が集まる人ではない人がインター</p>

	<p>ネットで幾らやってもその関心に沿うかどうかというのは別だからとなったときには、インターネットで最低限知ろうと思った人にアクセスできるようには、絶対したほうがいいけれど、それをやったからすぐ人が来るってものではもちろんないから。</p> <p>逆に言うとさっきの観光街歩きのなものも含めて、一応実験と割り切って、ある期間限定でもいいけどちょっと出前的に、事務局も協力いただいて、そういう場に出張るみたいなことをしないと、多分その勝手気ままに自分が学びたい人たち、多分想定されている人とイコールじゃないですよ。だから、そのイメージはすり合わせた方がいいかなと。</p> <p>だから、結論でいうと場としてのコミュニティセンターを何か活用するようなことがあってもいいかなということです。</p>
事務局	ありがとうございます。
会長	1つね、具体的な何か見えてきたんじゃないかな、街歩き。コミュニティがその地域の中で知れるという。
事務局	こないだ私も街歩きに参加しまして、何となくぞろぞろ歩いていましたけど、ああいう時あえてのぼりでも持ってなんかやっているというのがわかったほうがいいかなとか思いました。遠くから見た人がわかるように。そういうことも大事かなと改めて思いました。
委員	おっしゃる通りで、香川県の場合、街歩きの欠点は車が危ない。すぐ車がやってきますから。どこからでも。こんな細いところでもかっというところ。
事務局	そういう安全性も大事ですよ。
会長	課長が参加されたまち歩きはどこのですか？
事務局	あの時はジオパークですね。平山のあたりを歩きましたが、外堀や太助道路のあの辺りから、平山は少し小高くなっているから坂道が何とかみたいな解説を聞きながら、すごく面白かったです。私も長年ここですけど初めて聞いたので、リアルで面白くなって思いました。生涯学習課が実施している市民学級の1つでした。

委員	<p>実は、今主人が自治会長をやっています。</p> <p>A 委員がおっしゃったように、うちの自治会、2年交代という形で、今年2年目が終わりますが、来年度からの会長がまだ決まっています。また続けないと駄目かなという話が出ていますが。</p> <p>何ヶ月か前に女性が訪ねて参りまして、ちょっと離れたところですけどマンションで一人暮らしですと。やっぱりいろいろな、南海トラフとかある中で、1人なのでいざというときに怖いので、自治会に加入したいけど、今住んでいるマンションは自治会に加入してないと。近くの方に聞いても、あんまり自治会のことに関して、情報を持ってらっしゃる人がいないので、たまたま「この方が会長しているよ」と聞いたので来ましたと言うんです。その方は、若い方でしたが、一人暮らしをされていて、これだけいろいろなところで、いろいろな天災がある中で、本当にいざとなったときに自分はどうすればいいかなって、悩まれるという心配になるのは当然だと思うんですね。</p> <p>街歩きとかいろいろ出ていましたけど、この資料の中にもあったと思いますが、街歩きプラス地域の状況を知って、そこを防災に生かすというか、一人暮らしの方でなくても誰でもですけど、いざというときに自分の身を守るためにはどうすればいいかということが、切実な問題だし、そういう取り組みだと、ちょっと取り組みやすいというか、地域のことを知らなければというところで、取り組みやすいのではないかな。防災に強い丸亀ですよというようなことを、市が打ち出してくだされれば、各コミュニティもそういう講座とか講師を派遣していただくとか、いろいろやり方は出てくると思うので、一番身近に感じられるテーマといえればやっぱり防災かなと思います。その女性は結局別の自治会が近かったので、地元の方がいいでしょうとそちらをご紹介して、そちらに加入されました。どこへ言っているのかもわからない、市役所に行ってもわからないみたいに言われたとおっしゃっていたので、自分がどこの自治会に入ればいいのかって、関わりたくない方もいますが、入りたいという方も中にはいらっしゃるんだということも、その件で知りました。</p> <p>小学生の方がいろいろな研究というか、みんなで話し合っって、危ないところ、通学路の中でここ危ないねとか、こっち通るよりこちらの方が安全だねということ授業の中でも取り組んでいるみたいですね。そういうのは実践としてよく聞きますが、その辺とも合わせて、学校とも一緒に連携しながらすれば、少しはいろいろなことにつながる。</p> <p>誰と一緒に住んでいるとかそういうプライバシーを知られたくないという方もいますが、取り組みとして、こういうことやりたいんですけどどうで</p>
----	--

	<p>すかという話はうちの自治会は回覧しました。残念ながら何の反応もきてないみたいですが、できたらそういう組織だったというか、いざと言うときには、誰かここに助けに行ってもらってあげてという形にしたいという話は、主人と2人でしています。どうなるかはわかりませんが。</p>
会長	<p>今の、街歩きに関してですが、マップを作ったりするっていうことに反応がなかった？</p>
委員	<p>やっぱり自分の状況というか、それを提供するのを嫌がる人がいらっしやるし、理解を深めていかないと、すぐにはできないことだとは思いますが。</p> <p>やっぱり同じ地域の中で、災害で亡くなられるとか、ケガされたという人をできるだけ少なくしたいですね。</p>
委員	<p>どういう関係で、その方が来られたんですか？個人的なお知り合い？</p>
委員	<p>全く存じ上げない方でしたが、ある方から、確かあそこの人が自治会長していると思うよ、ということで。</p>
委員	<p>いいか悪いはかわからないけど、城北は自治会長の札が貼ってあります。多分他のところも一応は、この家が自治会長だよっていうのがわかるようになっていていると思います。</p>
会長	<p>コミュニティセンターに貼っている？</p>
委員	<p>じゃなくて、自治会長の自宅に貼ってある。</p>
委員	<p>うちは貼ってないです。</p>
事務局	<p>やっているところはありますね。</p>
委員	<p>確かに見かけます。</p>
会長	<p>地域によってはね。</p>
委員	<p>コミュニティセンターの話っていうのは私も今回初めて知ったわけで。どういうことをしているのか。</p>

	<p>決まった活動をしなければならないと決まっているんですか？それとも、こういうのが必要だから吸い上げるのか。</p> <p>私はちょっとがらりと考えを変えて、今その地域が必要としていることを洗い出してやれば、若い人も参加するし、参加しやすい。例えば小学生の、この前も言いましたけど、部活みたいなスポーツクラブ、ここら辺でどこかスポーツクラブにお願いしようと思っても実際ないですよ。</p> <p>なので、そういうことをしてあげるといって、若い人たちも協力してくれるのではないかな。</p> <p>仕事が終わったら、大変な仕事があるから 17 時には終われないかもしれないけど、今頃は早く帰りなさいとなってきたから、大分参加してもらえて、指導者にはなれないけれども協力はしましょうというお父さんやお母さんたちもでてくると思うので。今ちょっと老人にばかり目が、自分ここで多分、最高齢だと思いますが。皆さんより一番、多分二、三十年私の方が年齢が上でですけど、老人だけじゃなくって、子どもに目を向けて、子どもが何を地域で必要としているかっていうことを考えて、保護者を巻き込むとか、そういうふうになれば意義もはっきりしてくるし、存続もできるのではないかな。代々伝えて、例えば 6 年生の保護者が何々するとかいうふうにすると、いいかなと私は思います。</p>
委員	<p>確かに今までずっと継続したやつは、ずっと行事がありますけどね。それだけではもうおもしろみがないですから。</p> <p>うちの場合は、意外と若い人たちの意見を取り上げて、やるようにしています。</p> <p>小学校、中学校、一応、高校生ぐらいの人を対象にして、それぞれ健全育成部会を作りました。そこは学校との関係を割と大事にするところで、そこでやり始めて、コミュニティに子どもたちが宿題しに来るような、ちょっとくせができてきた。人数は少ないですけど。</p> <p>そこでいろいろ話し合ったら、子どもたちにも何かやりたいという気持ち結構ありました。</p> <p>たまたま、去年の 10 月でしたかね。クリスマス会やろうかっていう話が健全育成会から出まして、どうやるかっていうのを大人が一生懸命考えたけど、たまたまそこへ来ている子がぱっと意見言って、なかなかいい意見持っているし、大人が発想できないようなことを言ったっていうので、そこに着目して、子どもたちに企画を考えてもらおうかって、ちょっと友達を呼んできてってことやったら、バーツと集まってきて。健全育成部の人達がちょっと圧倒されてね。思いっきり任すという話になって任してみました。いろ</p>

	<p>んな面でアドバイスはするけど、企画の段階から、物を準備する、買い物から、当日の進行、司会。宣伝関係も全部自分たちでやるということで、それで友達が友達呼んできて。</p>
委員	<p>何か西中で。</p>
委員	<p>それはクリスマス会ではなかったですが、敬老会のお手伝いしてくれて、それも中学生から、校内放送させてほしいと校長先生に言ってほしいと。校長に言ったら「いいですよ」ということやったけど、学校がそれをしたということではなしにしてくれということで校長先生が気を遣ってくれた。子どもたちが、コミュニティの要請で放送するという設定でなくて、やりましたがけっこう反応があつて。</p>
委員	<p>多分それがみんな欲しがっていたことだと思うんですね。</p>
委員	<p>続きがあつてね。</p> <p>今度は健全育成部会の話、小、中学生で、健全育成部会の委員になってもらおうという話になって。具体的に。すべてのことは話できないけど、子どもたちに関係する分については子どもたちに来てもらって、そこでやろうということで正式にやりましょうと。だからいろんなアイデアが出て。子どもたちが企画したり考えたりして、もう実現になっております。</p> <p>具体的に言うと、ロビーを楽しく飾ろうという話で提案したら、そういうことをする好きな人が、学校の元先生で、お手伝いするっていうことになって、月に1回子どもたちが寄ってきてそこで細工をしてね。例えばお花作って季節感を出すために、桜を作るとか、そういうようなものを作って、ロビーを飾るということを子どもたちが関わってやりました。</p> <p>それから読み聞かせ、これは大人が読み聞かせをしますが、子どもたちが企画してこういうことを話してねということで、読み聞かせのグループもできて。</p> <p>そんな感じでちょっと継続する動きが出てきました。</p> <p>だから、子どもたちだからどうこうという話でなくて、子どもたちの発想もちゃんともものになって、受けとめてあげて、そこで大人はちょっとアドバイスするぐらいの感じで、軽く関わるということで、そのスタンスでやってみたら実際うまくいったらしいです。子どもたちが子どもたちを呼んでくるので、もう広がり早い。学校で声かけたらみんなすつと来てくれる。人数も予定よりオーバーして、ちょっと制限しないといけなかった。</p>

	<p>だからそういう力をもっとコミュニティで、吸い上げてということはもう私自身ちょっと目論んでいるのは、子どもが来たら親も関心持ってくれるだろうということは期待している。ちょっとそういう動きも出てきていますけど。</p>
委員	<p>そういう意味で言うと、学童スペース的な利用の仕方が、コミュニティセンターであってもいいけれど、エリアによって、その就学の人があるかによるのだけれど、城北ではあんまり見たことない。もちろん中央図書館がすごくよかったり、マルタスもあったりするから、必ずしも必要としない地域もあると思うけれど。</p> <p>就学年代の人が、そういうテーマにしても、今 A 委員のお話に近いことと言うと長野県の茅野市で学童スペースを市全体のものを中央に作ったんですよね。だけど、結局中学生、高校生たちだけでちょっと運営をしたいからって言うので、一応その市の教育委員会とやりとりをした結果、管理人的な人がいると。だからトラブルが起こったり、何か事故があったりしたときの、対応窓口の人が、一応、ボランティアスタッフで地域の大人がいるけれど、基本的に運営とか企画とか、毎日の状況とか、学習環境のために何かこういう参考書を本棚に買って置いてくれとかそういうこと全部、中学生高校生が運営でやっていますね、もう 10 年ぐらいやっているじゃないかな。</p> <p>ただやっぱりそういうことで、常に子どもたちがその場で過ごすから、自分たちにとっても学んだ場所という感じで、受け継がれていっているようですけどね。それは新しい世代がやっぱり関わってくるでしょうね。</p>
事務局	<p>今のコミュニティの運営に関わっている人の受けとめ方っていうのも、ある意味、大事なのかなという。一生懸命されてはいますが。</p>
会長	<p>コミュニティセンターが地域の中で、フリースペースとするような意識で、子どもも誰でも来ることができるみたいな意識づけをしていくと、どんどん使う人が、増えると思う。</p>
委員	<p>それと一つ思ったのは、子どもは放課後來ますが、年齢、例えば小学 1 年生がおり、5 年生、6 年生が年齢の差で何かを、自然に上級生も下級生に教えています、いろいろ。こうやでああやでと、学校の勉強だけでないような会話がちょっと聞こえてきた。これは良いなと思います。</p> <p>だから、それをもうちょっと広げて、ちょっと大々的に宣伝をしようかなと思っています。ものすごくいい雰囲気ですね確かに。</p>

	<p>子どもだから廊下を走ったりもするけど、もうそれもほったらかしてありますが。結構集まって宿題を一緒にして、上級生に教えてもらったりしていましたから。</p> <p>それはもうちょっと広がったらいいけど、あんまり広がりすぎると場所が必要ですけど。いい傾向かなと。やっぱ子どもをどうやって入れるかというのはものすごく大事なことかなと思う。</p> <p>防災関係でも話したかもしれませんが、城西高校と一緒に、避難所の炊き出し訓練もやりました。そこでちょっと発展させて、実際に避難したときの避難所づくりとかそういうところも、関わってもらおうかなと思って、自主防災に少年部というか、学生部というかそんなものを作っていこうかなと思っています。</p> <p>やっぱり中学生高校生になったら力も強い。年寄りがよもよも言うよりはね。</p> <p>役員さんのお年寄りの人が、避難所に行ったらもう世話してもらう年齢なので、あまりどうこう言わずに若い人に任そうということで、そういう気持ちで今取り組んでいます。</p>
会長	<p>子どもの声を聴くことによって、素敵なスペースになっていくのかなと思いますけど。</p>
委員	<p>私も飯山南コミュニティの役員ですが、飯山南コミュニティはかなりいろんな地域の方から活動が活発だという話は言われます。</p> <p>どんとしたリーダーがいて、そのリーダーを、手伝おうという人間が集まっている。</p> <p>なので、参加する人は参加する、参加しない人は参加しないがはっきり分かれています。そのリーダーシップがあるからこういった活動もかなりできているところがあり、私も役員としてお手伝いしていますが。</p> <p>裾野を広げて人を入れようと思っても、かなり難しいと思います。まずは今いる人間、役員であったり、参加してくれる人だったりを離さないようにしていくことがまず大事かなと。</p> <p>そうしないと、リーダーがちょっと方向性間違えたら、衰退していくことがあるので、今のこの仲間を集めているのはこういうやり方としては、いい方向には向いています。イベントとかも盛んにやっていますし、この前のコミュニティまつりもかなりの人数が来て、今までにないぐらい盛大なまつりになったので、そういった意味ではすごいリーダーシップのある方です。</p> <p>じゃあこの方がいなくなった時にどうするかという問題もありますが、</p>

	<p>あの方も 82 歳になって、そういった先のことも考えていかないといけないですけど、今の枠をまずは守っていかないと、コミュニティが衰退してしまったら、私、今、丸亀市子ども会育成連絡協議会の立場で来ていますけど、ここが今衰退したんです。</p> <p>なぜかという、同じような感じで、子ども会育成連絡協議会がコミュニティで、周りに子ども会がひっついていましたけど、この子ども会の中から地域ごとに 1 人ずつ役員を出してこいというルールがあったので、その役員になりたくないから、子ども会がなくなっていきました。</p> <p>そういった裾野を無理に広げていこうとしたら、前例があるので同じようなことになる可能性があるので、私が思うのはコミュニティは、今の体制をきちっと続けていって、そしたら誰かそのうち入ってくるようになるのではないかなと。あんまり広げようとするのは、自爆行為になりかねないところがあると思います。</p> <p>ただ、地域性ありますよね。だから、例えばこのあたりが 1 万世帯ぐらいです。この辺りの旧市街地のエリアの高齢化と、飯山の状況というのとはとも別れのまちで、人の流れとか生活も、細かく言うと多分違うから、おっしゃる通りコミュニティと一言で言っても丸亀はぜいたくなことにいろいろな要素があるから、今おっしゃった飯山南ではそういう状況があるんだろうなあと思います。</p> <p>あと子ども会のことで言うと、ちょっと話はずれますけど、私が関わった例で言うと分譲住宅とかマンション世帯向けの子ども会がある時期乱立して。だけど結局その世帯の人たちの子どもたちが、一定の就学で、高校以上になった時に、もう瞬時に子ども会はなくなったということも聞いたことがあるから、それも多分地域性だから。地域性の問題と子ども会とかその自治会とかっていうのは、多分、すごい密接に繋がっているというお話ですよ。それ多分そういったことだなんて、すごい勢いがやっぱり飯山南はある。</p>
委員	<p>ただ、地域性ありますよね。だから、例えばこのあたりが 1 万世帯ぐらいです。この辺りの旧市街地のエリアの高齢化と、飯山の状況というのとはとも別れのまちで、人の流れとか生活も、細かく言うと多分違うから、おっしゃる通りコミュニティと一言で言っても丸亀はぜいたくなことにいろいろな要素があるから、今おっしゃった飯山南ではそういう状況があるんだろうなあと思います。</p>
委員	<p>リーダーがね。実際、今の役員に私になったのは子ども会から代表で出てくれとか、PTA 会長から出てくれとか、そういったあて職から始まっていますが、そのレベルでいいと思います。</p> <p>充て職からまず入ってコミュニティの活動に参加して、続けようかなでいいし、ちょっと合わないなら離れていく人もいるだろうし、先ほど A 委員が言われたように会議の日程なんかも、今年度から飯山南も土曜日昼間になりました。午前中だったんです。私は、逆に平日の夜の方が行きやすか</p>

	<p>ったので、平日の夜の会は参加できていましたが、土曜日になって、仕事であったり、子どもの部活であったりで、逆に今、その参加率が下がりました。</p> <p>そう言ったことがあるので、人を増やしたいからこうしようっていうのは、一直線になってしまったら逆に首を絞めてしまうと思うので、臨機応変にできた方がいいのかなと思いますけど。</p>
事務局	<p>ただ、今ってどっちかだと思っています。</p> <p>学びの観点から言うと、この地域コミュニティ組織をどう維持するかっていうところの観点の学びがちょっとできてはいなくて、あくまで個々人の興味関心の講座ぐらいしかできていないので、ほとんどできてない状況の中で、何かをやりたいと思っています。そのときに、それに賛同する人もいれば、できない人もいるとは思いますが、地域の存続のために何か、役に立つような学びというか、1歩手を打っていくっていうところが大事かなと思っています。そこに賛同できる人はまずは賛同してもらって、そこからまた広がって行って、これに合わない人はまた別の方法を考えていくっていう、次の段階かなという感じは確かにしますね。</p> <p>一律にしようとしていたらやっぱり無理があるとは思いますが。</p>
委員	<p>多様性。</p>
事務局	<p>そうですね。そのつもりでやる方もやったら、みんなに賛同してもらうのは無理な話ということ前提でやったらいいのかなという感じを改めてしました。</p>
委員	<p>私は高松市民なのでそういう地域のことを踏まえて話せないですが、これに似た状況というのはどこにでも発生していて、会は大事だし、一定関わっているけどその人たちが持っている悩みは、この会をどう継続するかっていうので、来ている人いるけどやってくれないとか、なんかお客さんばかり集まっちゃって、主体的になってくれる人が出ない。結構学会とかのレベルでも出ています。</p> <p>そういうときって、大体持ち回り制とか、2年交代、制度にするとある程度強制力が出て、出てくる方もいらっしゃいますが、結局それってやらされ感から抜け出せなくて、何も解決していかないというか。形式化していく方法も1つあると思うので。</p> <p>そういうのに、ふれるたびにやっぱりその会自体の魅力がないとか、意義</p>

	<p>が見いだせないとか、何か伝わってないとか、なんかおおよそそういう状況がある。</p> <p>コミュニティセンターが子どもたちにとって魅力的な場になれば、子どもたちもどんどん来るし、自分たちでやるようになるし、それって1つの子どもたちの主体性を持たせるアプローチだと思いますし、舞台を用意する大人の配慮なのかな。それってまさしく社会教育活動だと思います。それって子どもだけが対象ではなく、大人にも言えることだと思っていて、それを学びという形で提供しているのが行政だったりコミュニティセンターだったり公民館だったりすると思うので。学びをベースにして考えるしかないと思いますが、そういったときに、1つ集約として考えたのは、コミュニティセンターの主任さん？主事さん？館長ではなくて、講座を企画したりという方がいらっしゃる？</p>
事務局	<p>一応生涯学習推進員というのは各地区に配置しています。</p>
委員	<p>いや、今おっしゃっている主事的な人はいないですね。</p> <p>多分その館長が属人的な範囲の中で、例えばお知り合いで郷土史が好きな方がいるとか、そういうことで声をかけてその講座をする場合もあるし、或いは熱心な方といろいろな可能性を追求するけど、館長の気質に依存しているところがある。</p>
事務局	<p>主事は置いてなくて生涯学習推進員という人を各地区に配置しています。教育委員会で委嘱して、ただそれ、館長と兼務しているところがほとんどです。</p> <p>別にちゃんと置いてくれたのは3地区ぐらい、全部で15地区、島しょ部除いていますが、3地区ぐらいがセンター長と別の人で、一応、講座用に人を置いてくれています。あとはセンター長と兼ねています。</p>
委員	<p>それは、コミュニティセンターの予算と関係がある？</p>
事務局	<p>一応指定管理料の中に生涯学習推進さん分の、報償といいますか、入れた額で積算をしていますが、それが本当にその方たちにちゃんと渡っているかどうかコミュニティ次第などところがあります。だから、ちょっとそこら辺も曖昧になっていて。公民館のような形じゃないです。</p>
委員	<p>曖昧ではあるけど、例えば、名前出しませんが、ある部分館長をサポート</p>

	トしてくれる方を、そこのお金から分配しているかどうかわかりませんが、2人とか。関わっていただく方に一定のお金を回せるような形で工夫されている館長もいたように思います。
事務局	そこは本当にコミュニティ次第です。
委員	人を雇うかどうか各コミュニティ次第ですか？
事務局	そうですね。 あくまで地域の方に声をかけてやってもらっている。その手当ぐらいの額しか指定管理料の中の積算はできていないですが。それがどの程度本当にそこに渡っているかはちょっとよくわかりません。
委員	そういう状況だと、やっぱりコミュニティセンターにいろいろ注文つけるが難しい。
事務局	そうですね。
委員	例えばコミュニティセンターでもっと魅力的な事業をやったりとか、子どもたちが関わるような働きかけをしてみたりとか、いろいろ想像しましたが。やっぱりそういう人がいないことには、コミュニティセンターって回らないですよ。
委員	稀有です。
委員	右腕になる方がいらっしゃるのかなと思いつつ聞いていたので。
委員	いません。そういう方がいるんですかね。生涯学習推進委員。
事務局	はい。城坤地区の場合は佐々木所長が生涯学習推進員としても教育委員会から委嘱しています。
委員	そうですか。それ知らなかったです。
事務局	そうですか。一応2年間任期で今委嘱しているところです。

委員	<p>高松市の場合、館長のほかに主事というポジション、名前が変わって、事務員となってしまいますが。</p> <p>地域づくりの担当の事務員と、生涯学習担当の事務員というのは2名、各館に配置されるらしくて、自治会のコミュニティの事務局も担っているので、生涯学習部門と、地域部門みたいな形で、人がついて館長がいるみたいな体制があるらしいです。</p> <p>そういうところだと、子どもの活動を促すため、打ち合わせに人を出せたりするんでしょうけど。</p> <p>なかなかそこがもしかしたら1つネックかなあというふうには思います。</p> <p>やっぱり今回の資料3の、学びの内容について①②で、具体的な案が出せるのだろう。</p> <p>けど、そのコミュニティに関心を持つ人を増やそうみたいな、ちょっとテーマ性が低かったりするんで、コミュニティで活躍する専門性みたいな、いろいろあると思う。B委員の話の話を聞いていた時に、民生委員さんって間に入ってなかったのかなとかちょっと思いました。そういう方が本来は訪問してそういう方を把握して、自治会につなげるみたいなことをされるはずですよ。</p> <p>ちょっと、行政の縦割りから言うと、ここの管轄外かもしれませんが、民生委員さんの学びの場とか、さっきの消防団もそうですけど、そういう周辺領域の地域で活動する人たちの学びとか、研修を生涯学習課でももしかしたら、行ってもいいだろうし、あとは、学校ボランティアさんとか、そういう学校との関わりの中で、地域活動する方も一定数いらっしゃるし、あとあんまり詳しくないですがコミュニティナースという立ち回りをする看護師さんや、保健師さんの資格を持った方が、地域活動の中で自分の専門性を生かす方法みたいな。私看護師だから、こういう時に、働きますよみたいな。地域活動ライフワークみたいな形で、医療専門性を発揮されるパターン。人口の多い地域とかにはいらっしゃるみたいですが、そういった方の呼びかけをしてみるとか、あと、社会教育士とかそういうのも1つ。いろいろその地域で生かせる能力がありますよっていうのを、出した方がむしろ、地域活動に関わりたくなって思う人が増えるかもしれない。</p> <p>ただ、自治会に参加してって言われると、私何もできないし、とか、自治会長になって、例えば災害が起きたときに、避難所の運営とか、そんな責任持てませんってなっちゃうと思いますが、じゃあ防災士取っている人が地域にいらっしゃったらその人がもしかしたらコミュニティ活動に参加してくれるかもしれないので、専門性ベースで声かけするっていうのが1つやり方になりうるかなあというふうには思いました。</p>
----	--

委員	<p>ちょっと具体的に話を進めていくとそういう発想が必要かなど。理念としてはすごく多くあらわれている。より踏み出すとなったら NPO の存在も大きい。人材発掘とか専門性の必要性の把握する時の、フィールドとして。</p> <p>ものすごく関心があることが発言されたのでちょっとお聞きしますが。専門性のある人が関わらないともう立ちいかないぐらい、一般的に町を良くしましょうという人たちだけでは立ちいかない状態が来ていると思っています。</p> <p>例えば専門性の人ということは言わず、商売といえば変ですが、商売をしている人がいますよね。</p> <p>そういう人のところへ、コミュニティ活動で必要なことを、具体的に言うと、例えば広報誌を作るという時に、ボランティアで来ている人たちだけで、広報誌を作るというのもありとは思いますが、どうしても質的に何かうまくいかない。その時に例えばデザイン屋さんに頼むとか、印刷屋さんのその校正できる人に頼むとかね。そうなってくるとやっぱ費用がかかるでしょう。</p> <p>だから、コミュニティの活動だからタダでしてくれっていうことは言えない人達ですよ、専門性を持った人たちは。</p> <p>その辺でコミュニティの場合はなかなか、その地域の中の専門性を持っている人を引き集めるのは抵抗があります。</p> <p>私もちょっとある人から言われたことですが、コミュニティの役員になったら自分のところに仕事を引っ張ってきているなど。私も実際会社やっていますから。</p> <p>その提案したらそれ言われたんで、えっと思いましたが、そこはちょっと頑張って反論しないといけないなと思ってちょっと言い始めました。</p> <p>コミュニティのメンバーの専門性がある人だから、コミュニティが言うたら応援しないとイケない立場でないかということでも話をしています。だから、コミュニティに来るのはみんな商売しようと思って来ている人がいるとか、これは他の団体でもありますが。それを商売しようと思ったとき、来ても良いわけなので。</p> <p>そこでコミュニティと何か関係あって、気持ちとしてはちょっと他よりは安くするよとかいうぐらいの程度で。</p> <p>費用としては発生しますよね。専門性を持つ人に頼むとすれば。そこをうまくクリアしないと。</p> <p>コミュニティでする時はタダでしてくれでは、なかなかその人は動かない。そこをどうするかが一番、今ちょっと悩んでいるところ。</p>
----	--

委員	<p>私を知っている限りはたくさんではないけどやっぱり会計をインターネット上に公開するとか増えてきましたね。自治会とか。</p> <p>入札じゃなく随契っていう言い方が行政ではあるけど、随契で決めざるをえないわけですよ、手近なところでお願いするにしてもそれも、一応一定の金額以下は、透明性というか、公開する。</p> <p>それを根本解決策じゃないけど、1つ誤解を避ける方法かなということで皆さんもインターネットに馴染んできたし、そういう自治会が出てきて、よく、聞くようになりましたね。</p> <p>必ずしもコミュニティセンターではないけど、そういう手段をとるっていう方法があるのかなと思います。</p>
委員	<p>それはしないといけないと思いますが、そういう反論というか、実際こうやってちゃんとして、やっていますよというただ単にパッとひっぱってきてこの人に頼むとなると、やっぱりそういう変にうがった見方をする人が結構いるかもしれないですね。</p> <p>だから専門性を生涯学習と関係あるか、専門的なことを勉強して、それを生かすとなったときにコミュニティが受け皿になりにくい。そこを解決しないと。せっかく腕を持っているのに、コミュニティで頼んだらタダでやられるということで敬遠されてしまう。そこもちょっと本当にしっかり解決しないと、質の高い活動なり内容にはできない。素人ばかり寄っても、ある範囲は越えられないとそれはもう、思いますね。</p> <p>公開するのは抵抗ありますから。そこはちょっとクリアしながら、その方向でいきたいなという良い提案いただきました。</p>
会長	<p>コミュニティセンターっていうのは、コミュニティ協議会が指定管理を受けて、センターを運営しているっていう形？</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>その時の指定管理の金銭的なものっていうのは、市が提案したものに、協議会がOKの判を押すという流れですか。</p>
委員	<p>一応、担当課と協議をします。こんな感じでの程度がいるよと。臨時でもちょっと出してくれるようですね、最近は。</p>

事務局	<p>光熱費が急に上がった時とかですね。昨年度、光熱費が高騰した時は追加でお渡しました。センターの規模によっても全部違いますので、金額は違いますけれども、コミュニティセンターの運営自体ちょっと厳密にはどうやってしているかよく知りません。</p>
会長	<p>結構今、コミュニティセンターが担うことって、子育てから高齢者に関わるまでたくさん出てきているので、社協からこの、事業委託して、それに30万ついたりとか、そういったこともあるかと思います。あと飯山南のリーダーは知識があるから、いろんなところからお金を引っ張って、助成金を取って行って事業につなげるっていうような形もあるかと思いますが、やっぱり行政ができることって、そこに予算をしっかりとつけるっていう役割もあるんじゃないかなあと、聞いていて思いました。</p> <p>コミュニティセンターって、ボランティアでやるっていうのが根本的なところにあるから、人件費をつけるとかそういう視点がほとんどないかと思います。</p> <p>やっぱりそのところを、専門性のある人を巻き込んでやるとなるとちゃんとした予算っていうのも必要になってくるのではないかと感じましたが、どうでしょうね。</p>
事務局	<p>ボランティアで無償と有償があって、今ほとんど無償でやってくれている方に、若干手当みたいな形で出ているかもしれません。</p> <p>ただやっぱり有償ボランティアも必要じゃないかっていうのは最近議会とかでも質問が上がっていますし、やっぱり皆さんの、地域のために何かしたいという気持ちだけに甘えておくわけにはいけないという流れにちょっとなってきていますので、多分今からそういった話も進んでいくかなとは思っています。まだ全然形になる段階ではないとは思いますが、そういった状況です。</p>
委員	<p>そういう話を話す機会があったらぜひ言って欲しいのは、今お出かけ便でもよく聞きます。もうちょっとひどいですね今の状態は。</p> <p>この前ちょっと事故起こして。人身事故ではなかったのよかったですけど。やっぱそういう危険を伴うものを、75歳までとは言いながら、お年寄りが運転しているわけです。実際はそれでお金を渡したらダメということで、たまたまみんなやってくれている人が、そういう面であんまり言わない人なので、いいですいいですと言っていましたけども。</p> <p>だけど、それでは長続きしないし、補償のこともあるので。ぜひ有償でや</p>

	<p>るといことを正式にきちんと市の方から、言ってもらえると、機会がありましたら。</p>
事務局	<p>ちょっと別の課のことなので私も、あまりはっきりとは言えません。</p>
委員	<p>お出かけ便はどこ管轄ですか？</p>
事務局	<p>高齢者支援課です。やはり高齢者の移動手段確保ってことなので。</p>
委員	<p>結局、シェアカーということですね。</p>
事務局	<p>何人か予約で乗せてっていうとこだと思います。</p>
会長	<p>その1台ずつは各コミュニティセンターに置いているんですか？</p>
委員	<p>全部では無く、市内何ヶ所かだけですね。 この前、車は買ってくれましたが、年会費で車検からなんか入れて30万とか。それはもうそっちの方で使ってくれと、人件費としては使えないというふうになっている。有償というのはちょっと後ろめたい感じがします。だから、これも後ろめたい環境でないようにして欲しいなど。</p>
委員	<p>一応、昔からやっているのは岐阜の飛騨市がそれですずっとやっているが、白タク行為でないかみたいな批判もあって、結局それで多分人件費を捻出するのが難しかったのかもしれないですね。 委託料として、そこも見込むとか、保険料として入れるとか、なんかそういうのはあると利用する方も利用しやすいかもですよ。なんかこの人お金もらっているのかどうかわかんないみたいな。</p>
事務局	<p>ここ数年やはりそれずっと話題になっているのは横で感じていますが、その後どう進んだかはちょっとわかりません。</p>
委員	<p>郡家がやられている？</p>
事務局	<p>新しいデマンドみたいなことをね。</p>
委員	<p>どういう結果がでるか。</p>

	<p>だからもう言ったらタクシーでも呼んで、タクシー代ぐらい出すとかいうふうにした方がさっぱりしていいかなと思いますけど。</p>
事務局	<p>タクシー券ですね。</p>
委員	<p>それこそポイント制の話も出ていましたが、運転するとポイントがたまり、実際自分が運転できなくなったときに、そのポイントを使って利用できるというのはいかがでしょう。タクシー券は予算的には厳しいのではないかと。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>予算として駄目だったら、せめてそのぐらいのモチベーション、自分が困ったときにはまたこれが使えるとなったら、ちょっと気持ちが違うかなと思ったりしました。</p>
事務局	<p>そうですね。ポイント制もある意味 1 つの方法かなと。それこそいろんな健康ポイントとかもいろいろある中で、インセンティブにはなるかなとは思います。</p>
委員	<p>だけど、ちょっと範囲外ですけど、都市交通も含めてコミュニティの課題がいっぱいありますので、前回のときにお示しいただいたように、一応丸亀市のコミュニティ政策ってあるわけですね。その中での生涯学習の部分ですよっていう、それがこちら側からいうと整理できるけど、コミュニティセンターとして実際に、あれもこれもしないといけない。</p>
事務局	<p>もう生活そのものを支えてくれているところがあるから。防災から始まって、お出かけ便のような個人のことにまで。</p>
委員	<p>一応そういう状況もあるっていうのは、共有しといた方がいいかもしれません。</p> <p>その上で、コミュニティセンターで生涯学習をやるとなると、ちょっと工夫していかないと難しいかも。ちらっと地域おこし協力隊っていうのが出ましたけれども、これは、可能性がありますか？</p>
事務局	<p>いや、丸亀はこの制度は取り入れてないです。</p>

	<p>特別地方交付税の不交付、うちのところになっているので、財源がもう一般財源、持ち出しすれば、それがこの制度っていえるかどうかわかりませんが、でもこういった人を雇うことは可能ですけど、一応この制度に則っては、今はやる予定はないです。地域おこし協力隊っていう総務省の制度に則っては、やる予定はないです。</p>
委員	<p>まあね、この地域おこし協力隊もやっぱりちょっと問題があって、結局、その後の雇用とか、定着が難しいから、三豊とか徳島市とかは、結局、将来的にそういう人が定住するように会社を興して、銀行が融資して、経営計画みたいなことをする団体を立ち上げているようですから万能薬ではない。</p>
事務局	<p>やっぱり地域とうまいこと合わないという人も、人対人だからあるとは思いますが。</p> <p>外からの力っていうと若い人の力とか、そういったところがいいのかもしれないですね。</p>
委員	<p>一応制度上は、難しい。</p>
事務局	<p>そうですね。はい。丸亀市の方針ではそのような感じですよ。</p>
会長	<p>でも1つ制度が、それをすぐやってしまう。でもそれは、それをやることだけを目的にしてやってしまうから、後が続かない。</p> <p>これをやることで、どういうことを目標にするか、何をもって着地点にするかみたいなのまで考えてその制度を進めていかないと、結局何でも丸亀市がやっていた町歩きも何年かやってしぼんでしまったみたいな形になってしまうから、やはり、ちゃんと目的を持って、そこに到着するまでしっかりやっていくみたいなものにならないと、何でもそうですよね。生涯学習の人材バンク、あれも活用されていますか？</p>
事務局	<p>活用っていうのは難しいですね。</p>
会長	<p>とりあえず人材バンクを作りましょうって。そこが結局、目的になってしまったところがあると思うんですよね。</p> <p>それをどう生かすか。これがどれだけ生かされるようになるか、っていうような先までちゃんと見据えて手がけていかないと、何かやりました、花火的にね、やりました、立ち消えました、ではまちづくりには、繋がっていか</p>

	<p>ないのではないかなと思います。やっぱり行政の立場としてね。他の課のことやからわかりません、言えませんというような。</p>
事務局	<p>いや、それはもう言えないです。</p>
委員	<p>だけどとりあえず、関わりしろがなかった人を開拓しようということはあると思うんですよ。</p> <p>そのための、その場のしぎって言われるかもしれませんが、一応こういうことをやったら、どのぐらい反響があるかの実験として、仮説を立ててやる分にはいいのかなと思いますね。</p> <p>ただ問題はそれをやった後、ちゃんと検証して、次、これをどういうふうに生かすかとか、そういう議論はやっぱり積み重ねてやるっていう事がちゃんとできていけばいいのかなあとと思います。まだそのあたりは多分今会長が、念押しをしてくれたのかなというふうに思いますし、私もさっきコミュニティセンターで出張っていきますかっていう、ちょっとおどしみたいになりましたけど、それもある意味ずっとじゃないけど、試しにやるのならそのスペックをさけるかなというか、計画してですね。どっちにしても次年度になるでしょうから。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>だったら意味があるのかなと思います。</p>
事務局	<p>やっぱりそれが目的ではないってことですよ。その先を考えてというところですよ。</p>
委員	<p>私もコミュニティセンター会長になって 2 年になりますが、ちょっと役が多過ぎる。</p>
事務局	<p>会長の役がということですか？</p>
委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>そうですか。</p>
委員	<p>それでもう、本当にやりたいことをする時間を削らざるをえない状況で</p>

	<p>す。だから、うちの中で変えていこうとしているところなんですけど、何でもかんでも自治会長ということではなく、自治会で承認というか、推薦された方が出ていくとかね。</p> <p>そういう形で、コミュニティの中で今変えている途中です。</p> <p>私もコミュニティの会長になってこんなに会議があるのは聞いてないよと言わないとダメなくらい多すぎる。</p> <p>最初、引き継ぎの時は月 4、5 回かなあと言われていた。そのくらいなら行けるかなと思って引き受けましたが、ちょっと多すぎるというか、それが多いだけではなく、自分がこなせない。</p> <p>こなせない課題が多いし、そこまで広げるよりはもうちょっと、コミュニティの中の人が生き生きとなるような策を練る時間をたっぷりとった方がいいのになということですね。</p> <p>今日の会議も確かにいろんなアイデアをいただけて、よかったですけどね。中には、何のために私はここ座っているのだろうという会もありますので、そこはちょっと悩むところです。</p> <p>だからもう、できたら副会長に行ってもらおうかなと。それはいいですかね。そういうことにしても。</p>
事務局	<p>いや、ちょっとごめんなさい。どういった会なのかよくわからないのでどう言ったらいいか。</p>
委員	<p>あて職じゃないけど、あて職でどんどんふられているのかなとは思いつつ、行って見て、良ければいいし、ダメなら副会長に頼んでも良いかなという感じです。</p> <p>あて職は悪くないけど、そのことをきっかけにその人が目覚める場合があるから、何か悪いことではないですが、あまりそういう固定をしてしまったら、私はちょっと今行き詰まっています。やりたいことができない。</p>
会長	<p>月に何回ぐらい？ 4、5 回以上ありますか？</p>
委員	<p>とてもとてもそんなもんじゃない。</p> <p>近くの老人施設だけでもその理事会は必ず 2 ヶ月に一回あります。</p> <p>それに行って何か変だなって、ちょっとわからないですが何を期待しているのかなと。</p> <p>その経営者の経営方針とか、どこかからの指導だったと思いますが、地域と交われとか、そういうことだから自治会長に来てくれ、コミュニティ会</p>

	<p>長に来てくれって、そこに座っているけど、話を聞いていたら、日常生活の報告ぐらいですからね。何人来ました、何人やめました、何人亡くなりましたと。そこまで細かいこと言ってくれなくてもいいですが。</p> <p>そういう建前だけ、いてくれなかったら困るという、これ会社の都合でしょうと思いますけどね。</p> <p>そんなところはもう、今からちょっと変えていかないとダメだなと思います。</p>
会長	<p>気づきからね、遠隔で繋がるとか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員	<p>良い意見も出るので、行って全然駄目だったというのはそんなにないですけど。余りにもちょっと多過ぎるなという感じ。</p> <p>私、最近スマートフォンで予定は書くけどね、書くときちょっと忘れてしまったら、もう完全に飛んでしまう。</p> <p>この前も電話がかかってきて、どうしました？と言われたので、何ですか？と逆に聞いて、今日会議ですよと言われてまして。</p> <p>それ最近出てきだしたから気をつけないとダメだと思って。</p>
事務局	<p>忙し過ぎるかもしれないですね。</p>
委員	<p>だから、スマートフォンだけではダメ。ダイアリー買って書いています。1枚で見ると1ヶ月、もうあれがええなと思いました。スマートフォンは1回1回押さないと見ることができないですからね。</p> <p>やりたいことがあるけどなかなかできないと。これも悩みです。</p>
会長	<p>たくさんのご意見が出たかと思いますが、言い残したこととか何かありますか？</p> <p>コミュニティなど、具体的な学びについて、いろいろ出てきたかと思いますが、あり方について協議が進んだというよりは、やはり意見をいろいろ聞かせていただいたという状況だと思います。</p> <p>これまでの議論をどのような形でまとめる予定でしょうか。</p> <p>またリカレント教育に関することっていうことも今年度、協議事項になっていました。このリカレント教育ですね、仕事で求められる知識や技術を市の講座で提供するためにはどのような方法があるかっていう論点もあつ</p>

事務局	<p>たと思いますが、それについてどのように進めていくかっていう点で、事務局のお考えを最後、お聞かせいただけたらと思います。</p> <p>まず 1 点目の、今日の議論までコミュニティに関する学びのあり方っていうところですけども、一応今回資料として、1、2、3 とお示したものをベースに、今日の意見を追加してまた資料 3 ということで、仕上げていきたいと思います。</p> <p>ただこの資料を見ただけでは十分繋がりとかもわからないので、ある程度文章にしたものも作って、その上で入れ込むかもしくはこの資料ということでこういった形で見せるかということで一応コミュニティに関する協議としては今日までのことでまとめていきたいと思っております。</p> <p>あともう 1 点リカレント教育のところ、以前、C 委員から、建設業界の流れとしてアップデートしていかないといけないというお話がありましたので、私どもの産業観光課に 1 人職員を置いています企業訪問員という方にちょっと現状聞いてみました。市で用意しております、人材育成の補助金につきましては、10 ぐらいメニューがありますがやはり人材育成のメニューの使われ方が一番頻度が高いということでした。</p> <p>使っている業種とかになりますとやっぱり建設業の方とか、資格取得するのにたくさん使ってらっしゃるっていうことを聞いたところです。</p> <p>その企業訪問員にリカレントとかリスキリングとかそういったことを訪問したときに、経営者の方とかにお話聞きますかって聞きましたら、正直全くないという感じで、建設業の方はアップデートってことは言われているけれども、それ以外の業種ではあまりないってところが現実として聞きました。</p> <p>なので市としましてはリカレントとか二本立てでは考えていましたが、やはりたちまち、地域づくりというコミュニティの方の人材という、そっちの方面で、今回の報告を取りまとめていきたいかなと思っております。</p> <p>ただ今回の後 2 回協議、この時間で設けておりますので、他の産業分野の現状ももう少し調べるだけ調べてみまして、また資料として提供できる場所があったら、それを次までにお示した上で、また次回はこの報告書の内容を見てもらうっていうのと、あと産業関係のリカレントとかそういったところの資料、お示しできましたらそれもちょうと見ていただいて、またご意見いただきたいなと思っております。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明について、何かご質問等ございますでしょうか。</p>

事務局	<p>では続きまして、報告の方に移らせていただきます。</p> <p>報告 1、令和 6 年丸亀市二十歳の成人式開催報告について説明をお願いいたします。</p> <p>資料 5 をご覧ください。</p> <p>今年度 1 月 7 日、日曜日に行われました二十歳の成人式についての開催のご報告です。</p> <p>本来でしたら 12 時 30 分開場の予定でしたが、当日、風が強くととても寒かったので、12 時 10 分から開場しまして、13 時 30 分から開式しました。</p> <p>4 番の参加者数につきましては、876 名、参加率につきましては 79.7% で、コロナ禍以前の水準に戻ってきております。</p> <p>また来賓及び恩師の出席者につきましては、34 名でございました。</p> <p>6 番の内容につきましては、式典とあとアトラクションといたしまして、式典前に丸亀市立南中学校の京極発幸舞連によります祝いの舞、また、式典が終わった後に、二十歳の成人式実行委員が作成しました、恩師のメッセージ動画及び抽選会を行いました。</p> <p>また最後に記念写真を撮影いたしまして、記念品としてお配りしております。</p> <p>配布につきましては、令和 6 年 2 月 5 日から 3 月 10 日までに、463 枚引き換えをしております。引き換え率につきましては 56.1% でした。</p> <p>これにつきましては、コロナ禍の間に記念写真の撮影がなかったということで間が空いたという点。</p> <p>あと、今回につきましては、生涯学習課と飯山市民総合センター、綾歌市民総合センターで平日開庁時のみの引き換えしました。</p> <p>3 月の 3 日及び 3 月の 10 日の日曜日につきましては、生涯学習センターロビー 1 階において、全小学校区の引き換えを行いました。</p> <p>コロナ禍前につきましては各コミュニティセンターの方をお願いしておりましたが、業務が多いというところもありますので今回につきましては、コミュニティセンターの方にはお願いはせず、こういった形をとったことが、引き換え率、ちょっと低かったのかなっていうところがございます。</p> <p>最後になりましたがご出席いただきました社会教育員の皆さんありがとうございました。報告としましては、以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまの説明について、ご質問等はありませんか。</p> <p>余った写真は、どうする予定ですか？</p>

事務局	<p>引き換えにつきましては、ご希望がある方にはお配りするので、保管はしております。</p> <p>思ったより低かったかなという感じですかね。</p>
委員	<p>ただね、うちの学生でもね、卒業アルバムのなものね、全員で撮ったりするのね、やらない人が多いですよ。</p>
会長	<p>集合写真も？</p>
委員	<p>はい。だから撮るとしても、自分たちで撮ってSNSにアップするのは好きだけど、冊子まで作って、しかもなんか別に仲もよくもない人と一緒に写りたくないのかもしれないですが。</p>
事務局	<p>そうですね、引き換えにね。これをデジタルっていう方法もどうかという案もあります。</p>
委員	<p>学校で卒業に作るものと、成人式で作るものは趣旨は違うかもしれませんが、ただ卒業のやつに関してはそれを希望しない人がちょっと増えてきたなって思いました。</p>
事務局	<p>そうですか。すごい労力使って、撮るのに時間もかかりますしね。</p> <p>南中の京極発幸舞連の子たちもとても協力してくれて、手荷物を預かってまた返すとかも全て協力してくれました。</p>
委員	<p>景気が悪いからなんか卒業式と成人式両方晴れ着とか、衣装を用意しないっていう学生さん増えましたね。</p>
事務局	<p>そうですか。</p>
委員	<p>はい。だからもう卒業式だけとか、成人式だけとか。</p>
事務局	<p>でも出席率は8割近くと悪くないですよ。</p>
委員	<p>割と結構出られたみたいですね。</p>

事務局	みんな晴れ着でしたね、ほとんど。
委員	学校に行っている人はお金がなくなっているのかもしれないですね。
会長	もう1つ、新しい課名について。
事務局	<p>4月から機構改革がありまして、今は生涯学習課の生涯学習担当ですが、課名がまなび文化課に変わりがして、今の文化課があるところに生涯学習担当が加わるような形で、まなび文化課という課名になります。</p> <p>場所は現在、北フロアですが、南フロアになります。</p> <p>この会議室の位置は一緒なので、一応場所も南側に移るようになりまして、なので今度から案内状がまなび文化課ということで行こうかと思えます。担当は生涯学習担当のままですが課名が変わります。電話番号もそのままです。</p>
会長	では、他にはないようですので、本日の議題はすべて終了いたしました。議長を解任させていただき、以降は事務局をお願いいたします。
事務局	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>以上で第4回の社会教育委員の会終了いたします。</p> <p>次回の会議は新年度になってから、6月ぐらいを予定しておりますので、また日程調整の上、ご案内いたします。</p> <p>大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>